

# 会社概要／株主メモ

## Corporate Profile / Shareholders' Memo

(2018年3月31日現在)

### ■ 会社概要

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 500百万円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ: 575名 [外、臨時従業員18名] 単体: 30名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、 不動産管理、総務・経理・人事等の管理

### ■ 役員 (2018年6月26日現在)

代表取締役会長 菅野 松一	取締役 (常勤監査等委員) 三浦 隆夫
代表取締役社長 齋藤 高紀	取締役 (監査等委員) 大出 隆秀
常務取締役 羽田 和徳	取締役 (監査等委員) 菅野 晴隆
取締役 菅野 孝太郎	
取締役 伊藤 信弘	

### ■ 株主メモ

上場市場	： 東京証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合には、日本経済新聞に掲載を行 います。 電子公告掲載URL: <a href="http://cocolonet.jp/">http://cocolonet.jp/</a>
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	： 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	： 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
各種事務 手続き	： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページにてご確認ください。 <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>



感動のある人生を。  
ころネットグループ

# 株主の皆様へ

2018年3月期のご報告

証券コード 6060



ころネット株式会社  
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1  
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。



# 中期経営計画最終年度の取組みを 着実に推進する。

代表取締役社長  
齋藤 高紀



私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらす  
サービスを提供いたします。

— グループ理念 —

**Q1** 当期(2017年度)の業績はいかがですか。

**厳しい事業環境を反映し減収減益となりましたが、営業利益は当初予想を上回ることができました。**

当社グループを取り巻く事業環境は、少子高齢化、お客様ニーズの多様化、異業種からの参入などを背景に、引き続き変化の激しい状況にあります。葬祭事業では葬儀の小規模化、石材卸売・小売事業では墓石需要の低迷、婚礼事業では婚礼施行件数の減少などの傾向が続いています。

こうした事業環境を反映し、当期の連結業績は減収減益を余儀なくされました。売上高は前期比6.3%減、営業利益は同10.1%減、経常利益は同17.2%減、親会社株主に帰属する当期純利益は同56.7%減となりました。

売上高については、特に婚礼事業と石材卸売事業における減収額が大きかったことが、主な減収要因となりました。しかし、営業利益と経常利益については、当初予想を上回る成果を上げることができました。これは、事業再編や重点事業分野の拡大など、中期経営計画における取組みが効果を発揮してきていることによるものと考えております。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益が、前期比・当初予想比の両方で大幅に下回りましたが、この主な要因は、婚礼事業における事業再編に伴う特別損失の計上によるものです。稼働率が低下し採算確保が困難となり2017年4月より休館していた大型の総合婚礼会場「迎賓館グランプラス」(福島県郡山市)を2018年3月に売却し、固定資産売却損等の特別損失を計上したことが大きな要因です。

■ 連結業績の推移(単位:百万円)	2016年度 (実績)	2017年度 (当初予想)	2017年度 (実績)
売上高	11,670	11,297	10,933
営業利益	885	753	796
経常利益	1,013	775	839
親会社株主に帰属する当期純利益	567	523	245

**Q2** 中期経営計画2年目となった当期(2017年度)の  
主な取組みと成果をお教えください。

**3つの重点施策の展開により、事業基盤の強化が  
着実に進んでおります。**

中期経営計画(2016年度～2018年度)において掲げております3つの重点施策は、着々と進捗しております。

- 1 事業再編
- 2 重点事業分野の拡大
- 3 新たな取組み

「事業再編」については、2017年4月にこれまで2社に分かれていた石材卸売事業と石材小売事業を「カンノ・トレーディング株式会社」として1社に統合する一方、生花事業とその他の装販部門を「株式会社フルール」として単独会社にしました。また、婚礼事業では、総合婚礼会場の休館・売却に加え、同年4月に小規模婚礼会場「KAI KORIYAMA」(福島県郡山市)を新設し、施設のスクラップ&ビルドを推進しました。更に、葬祭事業で、同年9月に「有限会社牛久葬儀社」を「株式会社たまのや」に吸収合併するなど、グループ全体で組織の効率化と経営資源の集中を図ってまいりました。

「重点事業分野の拡大」については、2017年10月に生花事業で「青森営業所」(青森県上北郡)を新設しました。また、同年12月に葬祭事業で「有限会社玉橋」(福島県本宮市)の完全子会社化を実施しております。これらの展開により、営業エリアの拡大と収益力の強化を図ってまいりました。

「新たな取組み」については、2017年6月に再生可能エネルギー分野に取り組む連結子会社「こころeパワー株式会社」を設立しました。また、宗教法人正龍教会が経営主体である屋内納骨堂「本所廟堂」(東京都墨田区)が立ち上がり、2018年1月より販売代行をスタートしております。

**Q3** 次期(2018年度)の取組方針をお聞かせください。

**「稼ぐ力」に加え、「使う力」を基本方針とし  
持続的成長を目指してまいります。**

中期経営計画の最終年度となる2018年度は、事業規模の拡大と収益力の強化を図るため、設備投資、M&A投資、新規事業

投資等を積極的に行ってまいります。また、持続的な成長を図るため、生産性の向上、ブランド力の向上、組織の活性化等に係る取組みを進めてまいります。

設備投資の面では、関東地区における小規模葬祭会館の新設、既存葬祭会館の改築等を予定しているほか、生花営業所の新設等を検討してまいります。また、友好的M&Aは、福島県内、近隣県を中心に引き続き機動的に取り組んでまいります。生産性向上の面では、グループ全体の施策として、業務プロセスを抜本的に見直し再構築する「BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング)」に係るプロジェクトを立ち上げ、業務改革への取組みに着手しております。

このように、中期経営計画の基本方針である「稼ぐ力」に「使う力」を加え、当社グループが成長を続けるための施策を展開してまいります。

**Q4** 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**たゆまぬ努力を続け、中長期的な企業価値向上のための成長基盤の構築を図ってまいります。**

株主の皆様への利益還元につきましては、「安定・継続」を基本に、2018年度は、2017年度と同様に、年間配当30円を計画しております。

当社グループを取り巻く事業環境は、引き続き変化の激しい状況が予想されますが、中期経営計画における重点施策について今後もたゆまぬ努力を続けてまいります。また、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらすサービスを提供することを理念に掲げる当社グループは、常に地域に根差した取組みにより、地域の皆様とともに歩み続けることを重視した経営を推し進めてまいります。

株主の皆様には、引き続き当社グループの経営にご理解、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## こころネットグループが提供する「トータルライフサポート」

こころネットグループ

持株会社

こころネット(株)

葬祭事業

(株)たまのや  
(有)玉橋

石材卸売・小売、  
霊園事業

カンノ・トレーディング(株)

婚礼・宴会・  
ケータリング事業

(株)With Wedding

生花・装販事業

(株)フルール

互助会事業

(株)ハートライン

介護事業

こころガーデン(株)

再生可能エネルギー  
事業

こころeパワー(株)

お客様のライフステージにあわせたお手伝い

七五三

成人式

結婚式

介護

お葬式

お墓

こころネットグループは、葬祭、石材、婚礼、生花、互助会、介護等の各事業を展開しており、お客様の人生の節目における儀式をトータルでサポートしています。



葬祭事業

- お葬式全般のお手伝い
- 法事、仏壇仏具販売等のアフターフォロー
- 終活等のセミナー実施



石材卸売・小売、  
霊園事業

- 墓石商品、建築石材の販売(卸売・小売)
- 霊園事業
- 屋内納骨堂の販売代行



婚礼・宴会・  
ケータリング事業

- 結婚式全般のお手伝い
- 各種宴会、パーティー
- 貸衣装、記念写真



生花・装販事業

- お葬式や結婚式における生花商品の作成・販売
- 生花の卸売
- 棺・納棺具の卸売



互助会事業

- 冠婚葬祭互助会の運営
- 会員様向けカルチャースクール
- 少額短期保険



介護事業

- サービス付き高齢者向け住宅
- 通所介護サービス
- 訪問介護サービス
- 居宅介護支援サービス

TOPICS  
1

## 有限会社玉橋の子会社化

2017年12月1日付で福島県本宮市の有限会社玉橋を子会社化し、葬祭事業における営業エリアの拡大を図りました。同社は業歴68年を超える葬祭事業会社で、地域に根ざした営業により安定した業績を残しておりました。今後、グループ全体の更なる企業価値の向上につながるよう、グループ会社とのシナジー発揮にも努めてまいります。



もみや斎場外観



セレモニーホール

TOPICS  
2

## 屋内納骨堂「本所廟堂」の販売代行開始

石材卸売・小売事業を営んでいるカンノ・トレーディング株式会社(石のカンノ)は、埋葬方法の多様化への対応及びお客様へのサービス向上を図るため、宗教法人正龍教会が経営主体となり開発を進めていた屋内納骨堂「本所廟堂(ほんじょびょうどう)」(東京都墨田区)の販売代行を2018年1月より開始しました。



参拝ブース



本堂

施設タイプ

区画数：3,998区画  
フロア：1階 エントランスロビー・受付  
2階・3階 参拝ブース  
4階 客殿  
5階 本堂

販売開始

平成30年1月20日

施設の特徴

- 1 ICカードでスムーズな参拝
- 2 販売価格 単身用24万円  
家族用40万円
- 3 全館バリアフリー設計
- 4 宗旨・宗派不問
- 5 葬儀・法事施行可能

施設のお問合せ

「本所廟堂」0120-10-2058(通話料無料)

第2回

## 婚礼事業「With Wedding」の取り組み 結婚という大きなライフイベントを、満足を超えた感動で満たす お手伝いをします。

### こころネットグループの婚礼事業

株式会社With Weddingは、婚礼の施行を中心に、挙式に係る各種サービスの提供を主な業務としています。福島県内の主要3都市（福島市、郡山市、会津若松市）に異なるタイプの6つの婚礼会場を有し、結婚式やパーティ・宴会等の施行サービスを提供しています。そのほか、福島県県北地区及び会津地区では株式会社たまのやに仕出料理等のケータリング事業を展開しております。



### 変化するニーズへの対応



- 多様な挙式スタイルを実現するため、総合婚礼会場、ゲストハウス、小規模婚礼会場の3タイプの会場を用意し施設面での充実を図っております。更に、利用者のニーズを的確に捉えた婚礼料理や商品プランの開発を進め、顧客感動満足度の向上に努めております。
- 2017年4月に少規模婚礼会場「KAI KORIYAMA」を開設し、婚礼ニーズの変化への対応を強化しました。また、2018年3月には採算面から休館していた総合婚礼会場「迎賓館グランプラス」を売却し、施設のスクラップ&ビルドを推進しました。

### ブライダルプロデューサー

- 従業員には、一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会が認定する「ブライダルプロデューサー」の資格取得を推進し、ブライダルプロデューサーマスター級23名、同チーフ級17名の有資格者が在籍しております（2018年3月31日現在）。
- 当資格の取得をとおり、婚礼に関する基礎知識とマナーやサービスに至るプロとしての実践理論を学び、新郎新婦及び親族や友人等の参列者の心が通い合うような婚礼の施行に努めております。



## 新郎新婦様とご両家様のこころに寄り添い、 「人を想う結婚式、こころに響く結婚式」を創り続けます。

婚礼事業「With Wedding」  
営業部 サンパレス福島  
ブライダル支配人  
**青木 緑**

プロフィール

2004年入社  
総合婚礼会場「サンパレス福島」の婚礼部門責任者として、With Weddingの企業理念「感動あふれる結婚式を創造し、全てのお客様と社員の幸福を追求します」を実現するため、持ち前のマネジメント能力を発揮し、活気ある職場づくりに邁進。三児の母でもあり、仕事と子育てを両立し、若手社員の見本となっています。

### ■ 仕事内容

私が所属するブライダル部門は、結婚式の営業から打合せ、当日の施行、アフターフォローまで婚礼の一切を担っています。プロフェッショナルとして専門知識やマナー・慣習等に精通するのはもちろん、多様化するニーズに対応するため日々研鑽を重ねています。また、新郎新婦様・ご両家様の想いを感じとり、共感できる“こころ”を養うことを大切にしています。

### ■ エピソード

新郎様のお父様の体調が思わしくなく、できるだけ早く結婚式を挙げたい、との相談から始まった一組の結婚式がありました。もともと無口な新郎様でしたが、「新郎様からもサプライズでご両親にお手紙を読みませんか?」と提案しました。最初は遠慮された新郎様でしたが、ある日決意した表情で「やはり手紙を読みます。」と言われました。当日は新郎様からご両親への心からの感謝のお手紙に、会場全体が感動の涙に包まれました。

その後お父様は逝去されましたが、後日、「あの時最期に父に感謝の気持ち伝えられて良かったです。一生後悔するところでした。」と感謝の言葉をいただきました。

プロデューサーとして、結婚式後の新郎新婦様の人生まで考えた提案をすることが、この仕事の使命であると感じました。

### ■ 家庭との両立

勤務できる時間に限りがあるため、会社の理解、他スタッフの協力に報いるためにも、短時間で成果を残すことが最大の恩返しであると考えています。

また、今後結婚や出産をする若いスタッフにも、このやりがいのある仕事を続けていけるという希望をもってもらえる様に、自分が手本になりたいと思っています。

ブライダル業界は土日に施行が集中する業態ですが、業務の効率化や、交代制で土日に休暇が取れる仕組み作り、チームワークの醸成、職場の雰囲気作りに注力し、既婚女性が長く務めることができる環境作りを目指してまいります。

### ■ With Weddingのこれから

結婚式の形態は時代とともに変化していますが、結婚という大きなライフイベントは、周囲への感謝を伝えられる素晴らしい機会であることは変わらないものと考えます。

婚礼文化を継承するため、これからも結婚式の素晴らしさを伝え続けていきたいと思っております。また、満足を超えた感動で満たされる「人を想う結婚式、こころに響く結婚式」を創り続けてまいります。

■ 連結貸借対照表(要旨)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。

	前期末 2017年3月31日現在	当期末 2018年3月31日現在
<b>流動資産</b>	4,403	4,975
現金及び預金	2,593	2,578
受取手形及び売掛金	717	841
商品及び製品	434	424
その他	658	1,132
<b>固定資産</b>	16,640	15,453
有形固定資産	11,422	9,962
無形固定資産	182	248
投資その他の資産	5,034	5,242
<b>資産合計</b>	21,043	20,429

■ 連結損益計算書(要旨)

	前期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当期 2017年4月1日～ 2018年3月31日
<b>売上高</b>	11,670	10,933
売上原価	7,783	7,301
売上総利益	3,887	3,632
販売費及び一般管理費	3,001	2,836
<b>営業利益</b>	885	796
営業外収益	232	165
営業外費用	104	122
<b>経常利益</b>	1,013	839
特別利益	55	18
特別損失	127	812
税金等調整前当期純利益	941	45
法人税等合計	374	△199
<b>当期純利益</b>	567	245
親会社株主に帰属する当期純利益	567	245

	前期末 2017年3月31日現在	当期末 2018年3月31日現在
<b>流動負債</b>	2,670	1,930
買掛金	361	342
短期借入金	482	180
1年内返済予定の長期借入金	631	570
その他	1,196	836
<b>固定負債</b>	9,676	9,664
長期借入金	1,265	1,190
前払式特定取引前受金	7,828	7,839
その他	582	635
<b>負債合計</b>	12,347	11,594
<b>株主資本</b>	8,592	8,703
資本金	500	500
資本剰余金	2,032	2,032
利益剰余金	6,059	6,171
その他の包括利益累計額	103	131
<b>純資産合計</b>	8,696	8,835
<b>負債・純資産合計</b>	21,043	20,429

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

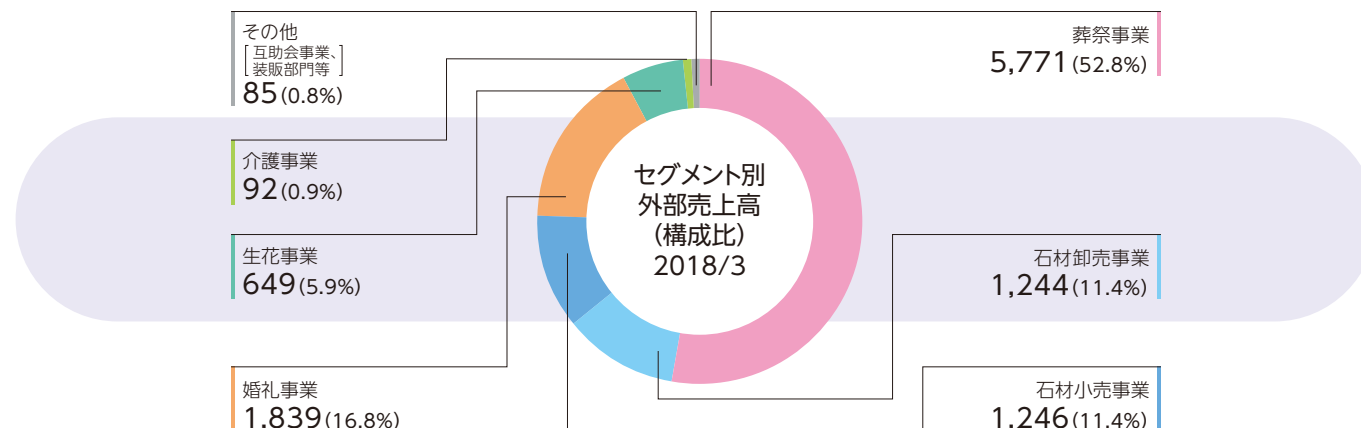
	前期 2016年4月1日～ 2017年3月31日	当期 2017年4月1日～ 2018年3月31日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	1,730	477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38	124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,171	△576
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	520	26
現金及び現金同等物の期首残高	1,139	1,659
現金及び現金同等物の期末残高	1,659	1,686

配当政策

当社は、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保して行くことを利益配分の基本方針といたしております。2018年3月期の1株当たり年間配当金については、30円(中間配当15円・期末配当15円)といたしました。なお、2019年3月期の1株当たり年間配当金は30円を予定しております。

■ セグメント別外部売上高(構成比)

※単位はすべて百万円、百万円未満は切捨てて表示。



業績・財務コメント

■ 連結貸借対照表

**流動資産**：受取手形及び売掛金の増加、未収還付法人税等が増加したこと等により、572百万円増加。

**固定資産**：前払式特定取引前受金保全のための金銭供託預入により供託金が増加した一方で、福島県郡山市の婚礼会場売却により土地、建物及び構築物が減少したこと等により、1,186百万円減少。

**流動負債**：短期借入金、未払法人税等及び賞与引当金が減少したこと等により、740百万円減少。

**固定負債**：福島県郡山市の婚礼会場売却に伴い補助金返還損失引当金が増加した一方で、長期借入金が減少したこと等により、12百万円減少。

**純資産**：親会社株主に帰属する当期純利益に伴う利益剰余金の増加等により、139百万円増加。

■ 連結損益計算書

**売上高の状況**：石材卸売事業、婚礼事業が低調に推移したこと等により前期比737百万円減少。

**利益の状況**：売上高減収に伴う減益となり、営業利益は89百万円、経常利益は174百万円減少。親会社株主に帰属する当期純利益は福島県郡山市の婚礼会場売却に伴い特別損失を計上したこと等により321百万円減少。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動により得られた資金は477百万円となりましたが、主に借入金の返済等の財務活動に576百万円使用しました。その結果、当期末における現金及び現金同等物は前期末に比べて26百万円増加し1,686百万円となりました。

**たまのや** 福島県内：葬祭会館 21施設、仏壇・仏具販売店 2店舗 茨城県内：葬祭会館 1施設



**With Wedding** 福島県内：婚礼会場 6施設



**カンノ・トレーディング** 福島県内：石材小売店舗 5店舗 長野県内：石材小売店舗 1店舗



**玉橋** 福島県内：葬祭会館 1施設



**こころガーデン** 福島県内：サービス付き高齢者向け住宅 1施設



■ 株式の状況

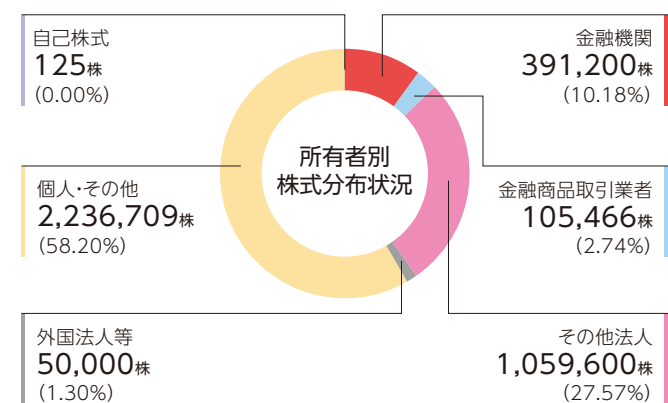
発行する株式の総数 ..... 5,100,000株  
 発行済株式の総数 ..... 3,843,100株  
 株主数 ..... 1,134名

■ 大株主

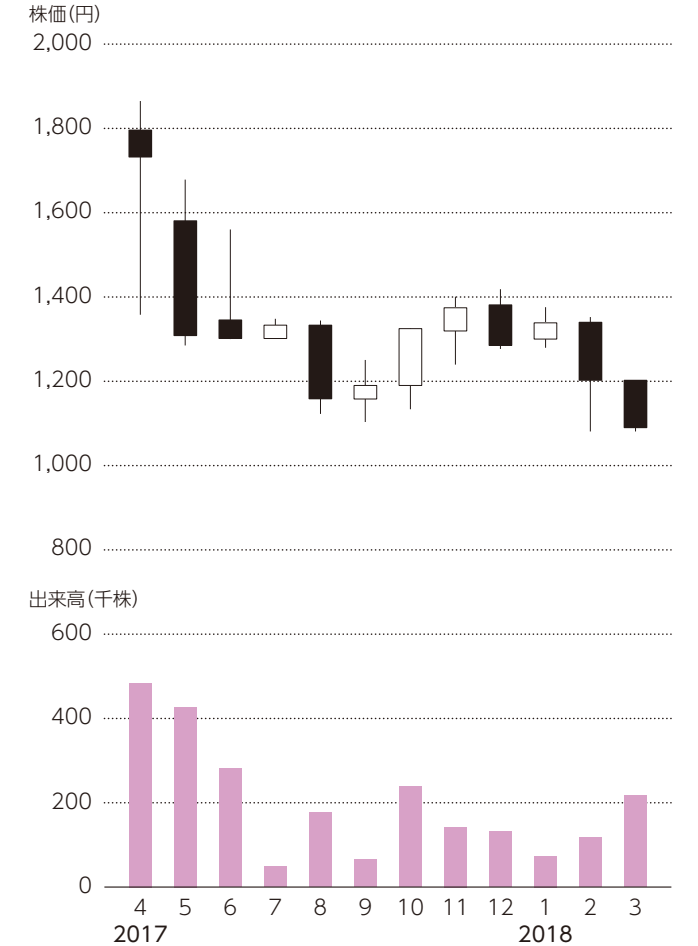
株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
カンノ合同会社	970,000	25.24
齋藤 高紀	383,570	9.98
川島 利介	274,375	7.13
こころネットグループ従業員持株会	183,840	4.78
(株)東邦銀行	175,000	4.55
(株)福島銀行	135,000	3.51
内藤 征吾	111,600	2.90
(株)SBI証券	83,900	2.18
齋藤 フヨ	74,830	1.94
菅野 孝太郎	70,940	1.84

※カンノ合同会社は、当社代表取締役会長菅野松一氏並びにその親族の保有資産の管理を行う会社です。

■ 所有者別株式分布状況



■ 株価・出来高の推移



(2018年3月31日現在)

